

会 議 名	第3回港区統合道路情報管理システムの再構築に係るシステム開発業務委託 事業候補者選考委員会
開催日時	令和6年2月6日（火曜日）午前10時から午前12時まで
開催場所	街づくり支援部会議室（港区役所5階）
委 員	ITC サンシャイン・ブレインズ ITコーディネータ 内田 勝也 （委員長） ※委員長が委員として発言している部分は委員と記載 東海大学情報通信学部 非常勤講師 水野 浩孝 仰星監査法人 公認会計士 岡本 悟 港区街づくり支援部長 富田 慎二 （副委員長） 港区街づくり支援部土木管理課長 香月 佑介 <div style="text-align: right;">欠席者 なし</div>
事 務 局	街づくり支援部土木管理課土木管理係
会議次第	1 開会 2 第二次審査実施概要について 3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施 4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 5 その他 6 閉会
配付資料	〔席上配付〕 ・次第 ・資料1 第二次審査実施概要 ・資料2 第二次審査採点基準表 ・資料3 事前の提出資料 ・資料4 第一次審査・第二次審査集計結果 ・資料5 第2回事業候補者選考委員会会議議事録（案） ・参考資料1 第一次審査 集計結果 ・参考資料2 第二次審査 評価項目ごとの質問例
会議の内容	
（発言者）	【1 開会】 （委員長より閉会の挨拶） 【2 第二次審査実施概要について】 （事務局より配布資料の説明） 【3 事業候補者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施】 （A事業者のプレゼンテーション）

A委員	この道路情報管理システムの業界として、革新的な発展が起きるとしたら、どのような機能が想定されますか。5年後とかはどうなっていますか。
A事業者	5年後だとクラウドがさらに使いやすくなっている程度かと思われますが、10年20年後には台帳が2Dではなく3Dで管理されるようになったり、通信環境や機器が発展することによって、窓口ではなく、現地でスマホ等から台帳を閲覧することができるようになってくると思います。
A委員	システム改修のライセンス費用について説明してください。
A事業者	G I Sエンジンのライセンス費用です。
A委員	ランニングコストは、現行の保守費用から変更はありますか。
A事業者	現行と同様の費用を計上しています。
B委員	御社は、港区の道路情報管理システム導入から十数年間保守管理をしてきましたが、その実績から自負できる点がありますか。
A事業者	システムの原因による業務停止は一度もなかったこと、必要に応じた改修提案を行い、15年間システムを継続することができていること、職員から評価され、15年間利用され続けていることです。
C委員	他自治体での実績がありますが、職員からの評価はどうだったのですか。また、今後の展望などありますか。
A事業者	マニュアルがなくても誰でも初見で扱えるような一画面一操作のシンプルな操作性のシステムを目指して開発をしました。 渋谷区においては、全庁型のシステムに統合することになり、撤退しましたが、窓口担当職員からは「使い続けたかった」との評価をいただき、この窓口業務としては、ベストなシステム形態と感じています。今後もできる限り現行と同様な形態のサービスを提供していくつもりです。
C委員	港区の業務として、現行はパソコン4台で処理していますが、規模感として妥当だと思いますか。
A事業者	窓口においてあるパソコン3台のうち、来庁者の閲覧用のパソコンは通常2台体制ですが、もう1台の資料調査用のパソコンにも閲覧システムが入って

	<p>いますので、それを起動すれば、3 台体制になります。この体制で窓口があふれたということは聞いたことはありません。</p>
D 委員	<p>占有物件状況図の閲覧機能を追加する上で、工夫点はありますか。</p>
A 事業者	<p>現時点では、現行のシステムの操作画面にボタンを追加する程度で、現状の操作性を妨げない程度の変更と考えています。あとは、進めながら発注者との打ち合わせの中で要望を形にしていく考えです。</p>
D 委員	<p>「占有物件状況図」を支所で閲覧したい場合、各支所にシステムを入れないと難しいのでしょうか。</p>
A 事業者	<p>タブレットなど現行と違うデバイスで使用することも想定すると、システム開発を別途必要とする場合もあります。実際に使用される支所の職員も含めて打ち合わせを行い、適切な提案することも可能と考えております。</p>
E 委員	<p>御社の従業員の中で、システム関係の従業員は何人いますか。 また、人材育成はどのように進めていますか。</p>
A 事業者	<p>システム関係の従業員は、5 人です。 人材育成は進めていますが、人材不足を補うことが大きな課題です。</p>
E 委員	<p>Windows11 のバージョンアップ業務は経験ありますか。提案された見積りだとテスト工数をかなり削減していますが、大丈夫ですか</p>
A 事業者	<p>Windows11 のバージョンアップは初めての業務ですが、現行システムについてバージョンアップのたびに更新してきた経験から、全てのテストを同じように実施するのではなく、テストの必要性をシステムの複雑性や重要度のランクに合わせて実施することで、工数の削減を提案しました。</p>
E 委員	<p>見積りについて、システム設計の項目がゼロになっているが作業は発生しないのですか。</p>
A 事業者	<p>論理的な目に見える機能変更がないので、システム構築の項目に含んで計上しています。</p>
E 委員	<p>データ移行費用は、ゼロですが作業は発生しないのですか。</p>

A事業者	<p>現行のパソコンのデータをそのまま使って、新たなプログラムを起動させるので、データの変換も移動もありません。</p>
E委員	<p>今後、Windows やエンジンが変更になったら、同様な改修が必要になりますか。</p>
A事業者	<p>バージョン単位というよりは、安定性を確保するため、サポート期間に合わせて改修が必要になります。</p>
	<p>(各選考委員の採点、事務局による集計)</p>
	<p>【4 第二次審査結果及び事業候補者の選定について】</p>
	<p>(事務局より資料4の説明)</p>
委員長	<p>順番に、講評をお願いします。</p>
A委員	<p>現行システム事業者ですので、提案の実現性という点では問題なく、理解・回答力の点でも非常に的確に回答していたと思いました。発展性という点は、普通でしたが、総じて何ら問題ない提案内容だと思いました。</p>
B委員	<p>業務の目的についてよく理解できていた。各委員の質問にも的確な回答をしていた。ただ、発展性については、今一つだった。</p>
C委員	<p>現行システム事業者ということもあり、業務をよく理解していて、提案の実現性など全体的に高い評価をしました。</p>
D委員	<p>業務趣旨を十分理解しているし、質問に対しても丁寧に回答している。発展性については、もう少し期待したかった。ただ、スタンドアローンでの運用の限界なのかも感じた。全体的には、今まで培った経験が出ていてよかったと思います。</p>
E委員	<p>システムについて全体的に十分理解されていた。長期的な体制については疑問が残りますが、今回の改修については問題ないと思います。</p>
委員長	<p>皆様からの講評、意見交換が終わりましたが、修正等必要な委員の方はいますか。皆様よろしいですか。</p> <p>(全委員承認)</p>
委員長	<p>審査結果や各委員の皆様からのご意見を総括し、当委員会としてはA事業者</p>

<p>委員長</p>	<p>を事業候補者として選定することとしますが、よろしいでしょうか。 （全委員承認）</p> <p>ご異議ございませんので、A事業者を事業候補者として選定いたします。</p> <p>【5 その他】 （事務局より連絡事項）</p> <p>【6 閉会】 （委員長より閉会の挨拶）</p>
------------	---